

33 年間のみんなの思い出 楽しかった三ヶ尻幼稚園



1 平成 4 年：金ヶ崎町三ヶ尻幼稚園落成祝賀会 2 平成 13 年：芋ほり体験
3 平成 14 年：創立 10 周年祝賀会での三ヶ尻鹿踊り 4 平成 25 年：地域でのりんご狩り体験 5 平成 29 年：生活発表会 6 令和 5 年：リサイクル教室（一部三ヶ尻幼稚園提供）



子どもたちの**元気な声**で
地域が明るくなった



いとうあきほ
伊藤明穂三ヶ尻地区
生涯教育センター所長

三ヶ尻生涯教育センターから毎日子どもたちの元気な様子を見守っていました。三ヶ尻鹿踊りを園児が披露した際は、全員がしっかりと踊っていて、地域の伝統が引き継がれていることは素晴らしいなと見ていました。近くで子どもたちの声が聞こえなくなるのは寂しいですが、これからも地域で子どもたちを育てていくことを大切にしたいですね。

親子 2 代で通った
大好きな三ヶ尻幼稚園



すずき
鈴木ゆきの PTA 会長

親子 2 代で三ヶ尻幼稚園に通いました（平成 9 年度卒園）。自分が在籍していたころと比べると、園児の数も少なく、最初は心配なこともありましたが、先生たちがきちんと子どもたちを理解してくれ、その子の個性を活かせるように手厚く見守っていただいたことは、とてもありがたいと感じています。寂しさはありますが、感謝の思いでいっぱいです。

園児のために教師がいて
子どもとともに成長する



及川克弘園長

三ヶ尻幼稚園の閉園式が無事に終わり、寂しさもありますが感無量の思いでいます。自然豊かな場所で地域の人達に暖かく見守られ、子どもたちは大きく成長しました。少人数でもさまざまな地域での体験、伝統文化を経験できたことは素晴らしいものだったと思います。三ヶ尻で育った子達がこの先も自分の力を発揮し活躍できるように見守りたいと思います。



33 年の歴史に幕

町立三ヶ尻幼稚園（及川克弘園長、園児 7 名）は、3 月に閉園を迎えました。

1992 年（平成 4 年）の開園以来、33 年にわたり地域と共に歩んだ同園。昨年度までに、園児 463 人を送り出し、見守り続けてきました。

近年では、園児数の減少に伴う異年齢学級が続き、町教育委員会の町立幼稚園再編計画に基づき、町立認定こども園南方幼稚園と統合しました。

3 月 22 日に同園舎で行われた閉園式には、園職員や来賓、保護者、園児らが出席。同園閉園記念事業実行委員会が、歴代園長へ感謝状を贈呈。園児 7 人が 2 曲の歌を合唱し、最後に「今まで本当にありがとう。いつまでもずっと三ヶ尻幼稚園を忘れません」と声を合わせました。園歌斉唱に続き、及川園長が高橋寛寿町長に園旗を返納し、参加者は別れを惜しみました。同園では、5 歳児の園児 4 人が昨年度で卒園。昨年度の 3 歳児 1 人、4 歳児 2 人は、本年度から認定こども園南方幼稚園に通います。